

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

術前の Psoas Muscle Thickness to Height (PMTH: 腸腰筋の厚み/身長)と腸閉塞患者に対する緊急手術後の合併症についての検討
1. 研究の対象および研究対象期間 2018年1月1日から2023年3月31日までの間に昭和大学病院消化器一般外科学講座でイレウスの診断を受けた患者さん
2. 研究目的・方法 腸閉塞やイレウスといって腸の動きが悪くなったり腸管が詰まってしまった患者さんに対して、手術を行い詰まってしまったり血流が悪くなった腸管を切除することがあります。またその手術後のトラブル(合併症)が起こりやすい理由として、筋力低下や筋肉量の減少(サルコペニア)が考えられています。サルコペニアに診断は筋肉量を計測する特殊な機器や計算方法が必要な場合がありますが、術前のCT検査の結果がある方を対象に、CT検査の結果から簡易的な指標で筋肉量の減少を評価し、どのような合併症がおこるのかということやその頻度を解析します。
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2030年3月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類 術前のCT及び血液検査(栄養指標である血中アルブミン値、リンパ球数、ヘモグロビン値)、患者の年齢と性別、原疾患
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません
6. 研究組織 研究責任者 研究機関名 昭和大学消化器一般外科学講座 氏名松根佑典

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院消化器一般外科学講座 氏名：松根佑典

住所：142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：0337848541